

## 評価結果調書

### 1 対象事業の特定

項目	内容
事業名	吹田市立小・中学校屋内運動場空調設備整備事業
担当部署	学校教育部 学校管理課
事業目的	小・中学校の屋内運動場（体育館）に空調設備及び非常用発電設備を整備し、教育環境等の整備を図る。
事業内容	小・中学校 54 校において、児童・生徒が学習等で日常的に使用するだけでなく、災害時には避難所となる屋内運動場に、空調設備及び非常用発電設備を整備し、併せて整備後の維持管理を行う。
採用手法	BT0方式（PPP/PFI手法）

### 2 評価結果

#### （1）詳細な検討における評価

比較した事業方式：従来型手法、DB0方式、BT0方式、リース方式

<比較条件>

事業範囲：空調設備及び非常用発電設備の設計、施工、工事監理、維持管理

事業期間：設計・施工期間 令和6年1月～令和8年3月

維持管理期間 供用開始後～令和23年3月

#### （2）BT0方式の選定理由

同種事業の先行事例においては、BT0方式またはDB0方式を導入し財政負担削減が見込まれており、本事業についてもBT0方式またはDB0方式を導入した場合、VFMは約0.2%となり、従来型手法と比較して市の財政負担はわずかながら削減することが確認できた。

BT0方式及びDB0方式は、従来型発注方式と比べ定性的に、「空調設備の全校一括整備」「リスク移転」「SPC組成による施設整備・維持管理の一体的な実施」「本市の管理、契約事務に係る負担軽減」等のメリットがある。また、BT0方式はDB0方式と比較して、PFI法に則って事業が進められるので説明性に優れており、事業者との契約関係が一本化されるので市のリスク負担が軽減される。加えて、本事業にBT0方式を導入する場合に、本事業への参画に積極的な関心を示す民間企業が市内・市外ともに多くあることを確認できた。

以上を踏まえ、従来型手法、DB0方式及びリース方式と比較し、BT0方式の導入が適切であると総合的に評価し、本事業を実施する方式として選択する。